

独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター



医療法病床455床
(一般410床、精神45床)
精神科病棟は休棟中)

全28科

指定その他

地域医療支援病院
地域がん診療拠点病院
地域災害拠点病院
臨床研修指定病院
DMAT指定医療機関
病院機能評価認定病院
エイズ拠点

内科

総合内科(2)、糖尿病代謝内科(3)、消化器内科(7)、呼吸器内科(7)、
脳神経内科(3)、循環器内科(4)

(総合内科に血液専門医 1名、腎臓内科は外来非常勤)

()内の数字は医師数

学会認定(内科関係)

日本糖尿病学会認定教育施設

日本内科学会認定教育施設

日本循環器病学会認定循環器専門医研修施設

日本呼吸器学会関連施設

日本消化器病学会認定施設

日本肝臓学会認定施設

日本超音波学会超音波専門医研修施設

日本消化器内視鏡学会認定指導施設

日本脳卒中学会認定教育研修施設

日本神経学会専門医制度認定准教育施設

日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育認定施設

新内科専門医制度

千葉大学の連携施設(千葉大学が基幹施設、千葉医療センターが連携施設)
千葉NHO(国立病院機構)病院群専門研修プログラム(千葉医療センターが基幹施設、千葉大学、千葉東病院、下志津病院、千葉中央メディカルセンターが連携施設)

2019年度、実際の内科専門医研修中の医師(専攻医)は千葉大学の連携施設として大学の医局からローテイトの3名(呼吸器内科、循環器内科)

各専門科に所属して専門分野の症例を中心に診療していますが、必要(不足)症例は医局に掲示して症例を紹介、必要な症例を経験できるよう努めています

2020年4月から救急専門医が赴任予定で救急もさらに充実する見込みです。

救急当番が受けた症例を他の内科メンバーが分担するしくみも取り入れて当番の先生が過重な負担にならないよう配慮しています。

糖尿病代謝内科

年間入院患者数(糖尿病代謝内科) 約120名
定期的外来通院患者数 約900名

メンバー

島田典生

大原恵美

他1名(H19年京都府立医大卒)

外来非常勤

石塚伸子先生

(常勤2名、非常勤1名が医局(内分泌代謝血液老年内科)出身)

眼科(糖尿病網膜症)、産婦人科(妊娠糖尿病)、形成外科、皮膚科、整形外科(足病変)、心臓血管外科(血管病変)、泌尿器科(無力性膀胱など)
など院内各科が比較的充実しているので糖尿病専門医(日本糖尿病学会専門医)申請に必要な症例は経験できます。

当院の大原先生は糖尿病専門医申請の際の症例はほとんどが当院の症例でした。

近くに千葉大学病院、千葉市立青葉病院、国立病院機構千葉東病院など医局関連病院がありますので難しい症例も相談しやすい地理的利点があります。